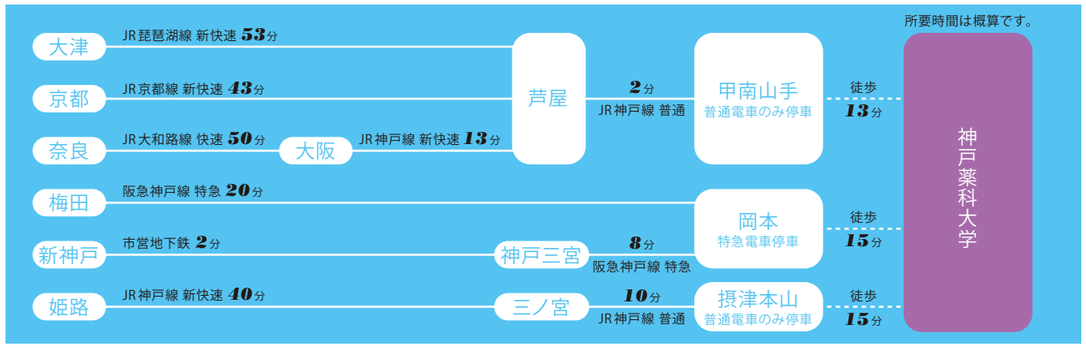
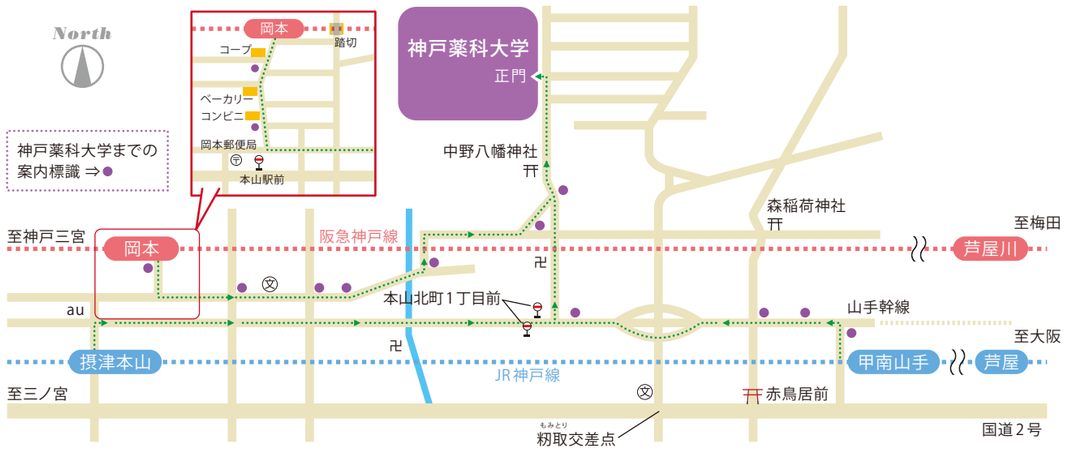
## 沿革

| | |
|---|---|
| 1930（昭和 5）年 | 神戸女子薬学校設立認可、武庫郡魚崎町の旧魚崎小学校を仮校舎に開校<br>理学博士・医学博士 桂田富士郎 校長に就任 |
| 1932（昭和 7）年 | 専門学校令による「神戸女子薬学専門学校」の設立認可<br>（認可 昭和7年3月29日法人認可 昭和7年4月27日） |
| 1935（昭和10）年 | 本校舎（本館・実験室一棟、寄宿舎北寮）竣工、現在地に移転 |
| 1936（昭和11）年 | 専門学校第1回生卒業 |
| 1949（昭和24）年 | 神戸女子薬科大学の設置認可（認可 昭和24年2月21日）、<br>大学第1回生入学 |
| 1951（昭和26）年 | 専門学校最終学生（第17回生）卒業 |
| 1953（昭和28）年 | 大学第1回生卒業、榎並記念研究所竣工 |
| 1958（昭和33）年 | 2号館竣工 |
| 1961（昭和36）年 | 3号館竣工 |
| 1965（昭和40）年 | 衛生薬学科増設認可 |
| 1967（昭和42）年 | 大学院修士課程の開設認可、1号館改築完成竣工 |
| 1968（昭和43）年 | 6号館（体育館）竣工 |
| 1973（昭和48）年 | 7号館（学生会館）竣工 |
| 1974（昭和49）年 | 8号館（食堂、談話室）竣工 |
| 1975（昭和50）年 | 実験室排水処理施設竣工 |
| 1977（昭和52）年 | 4号館竣工 |
| 1979（昭和54）年 | 大学院博士後期課程増設認可 |
| 1994（平成 6）年 | 神戸薬科大学に名称変更（男女共学） |
| 1996（平成 8）年 | 5号館竣工、医療薬学総合研修センター開設 |
| 1999（平成11）年 | 西宮グラウンド開設 |
| 2000（平成12）年 | 10号館（神戸薬科大学ライフサイエンスセンター）竣工 |
| 2001（平成13）年 | 大学院医療薬科学専攻修士課程開設認可 |
| 2002（平成14）年 | 大学院医療薬科学専攻修士課程開設 |
| 2005（平成17）年 | 収容定員増（6年制）認可 |
| 2006（平成18）年 | 学部6年制教育開始、薬学基礎教育センター開設 |
| 2007（平成19）年 | 薬剤師認定制度認証機構より「生涯研修プロバイダー」の認証<br>エクステンションセンター開設、薬学臨床教育センター開設 |
| 2008（平成20）年 | 11号館竣工、学生支援センター開設 |
| 2009（平成21）年 | 大学院薬学研究科薬科学専攻（修士課程）開設許可<br>（財）大学基準協会による大学評価（機関別認証評価）認定 |
| 2010（平成22）年 | 大学院薬学研究科薬科学専攻（修士課程）開設 |
| 2011（平成23）年 | 大学院薬学研究科薬学専攻（博士課程）設置届出受理 |
| 2012（平成24）年 | 6年制初の卒業、大学院薬学研究科薬学専攻（博士課程）開設 |
| 2013（平成25）年 | 80周年記念館（6号館）竣工 |
| 2016（平成28）年 | （公財）大学基準協会による大学評価（機関別認証評価）認定 |
| 2017（平成29）年 | 新8号館（研究棟）竣工<br>地域連携サテライトセンター竣工予定<br>（一般）薬学教育評価機構による薬学教育評価（専門分野別評価）認定 |





〒658-8558 神戸市東灘区本山北町4-19-1　TEL.078-453-0031（代）
http://www.kobepharma-u.ac.jp


神戸薬科大学

# 2017 神戸薬科大学 大学要覧

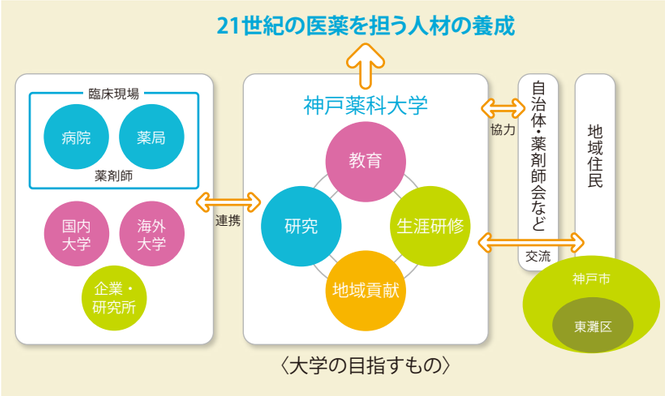
# KOBE PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

神戸薬科大学
KOBE PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

## 医療人として相応しい使命感と倫理観を有し、十分なコミュニケーション力をもつとともに高度な薬学の知識を身につけた薬のプロフェッショナルを養成します

### 大学の理念

社会に大きく開かれた大学であることを意識し、
創立以来の伝統である教育と研究の両立を基盤としながら、
医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、
高度な薬学の知識を身につけた薬剤師、
並びに教育・研究者を養成すること、
さらに地域の医療と環境問題に目を向けて
健康の維持・増進にも貢献できる拠点となること。




### ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

所定の単位を修得し、薬剤師に必要な以下に掲げる知識、技能、態度を備えた学生の卒業を認め、「学士（薬学）」の学位を授与する。

1. 医療を担う薬の専門家として相応しい薬学に関する十分な知識、技能を有すること。
2. 薬学・医療の進歩と改善に貢献できる科学的思考力、課題発見能力、問題解決能力を有すること。
3. 医療人として相応しい倫理観と使命感を有し、患者や生活者の立場に立って行動できること。
4. 医療人に必要なコミュニケーション力を有すること。
5. 医療人としての活動に必要な英語力を有し、グローバル化に対応した国際感覚を有すること。
6. 地域の医療、環境衛生に貢献できる幅広い知識と見識を有すること。
7. 生涯にわたって自己研鑽をし続ける能力と意欲を有すること。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づいて、「薬学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠した科目と本学独自の科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講する。
本学の教育課程では、その授業科目を基礎教育科目、教養教育科目及び専門教育科目に分ける。各授業科目は、必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成する。
全ての授業科目にGIO（一般目標）と複数のSBOs（到達目標）を定める。これらのSBOsを達成することによりGIOに到達し、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を実現する。

- 幅広い視野を身につけるための教養教育科目、「薬学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠した薬学基礎系科目及び医療系科目を系統的に編成し、実施する。
- 医療人としての倫理観と使命感を育成し、患者・生活者本位の視点を身につけるための科目を編成し、実施する。
- 国際化に対応できる人材の養成を図るため、6年間を通じて英語を学べる環境を構築するとともに、医療、薬学に係る英語科目を編成し、実施する。
- 地域の保健や医療に貢献できる知識と実践的能力を養成し、近隣大学や地域の医療機関との連携に基づくチーム医療教育を充実し、実施する。
- 研究マインドを涵養し、生涯にわたって自己研鑽を続け、後進を育成する意欲と態度を有する人材の養成を図るため、薬学臨床科目、薬学研究科目を編成し、実施する。
- 生涯学習に対する意欲を醸成するために、薬剤師生涯研修事業を取り入れるなど、特色ある薬学教育アドバンスト科目を編成し、実施する。
- 本学独自科目をシラバスに明記し、履修モデルをもとに目指すキャリアを明確にする。
- 高等学校から大学への円滑な接続ができるよう、初年次教育を充実させ、習熟度に配慮したクラス編成を取り入れた科目を編成し、実施する。
- 科学的思考力、課題発見能力、問題解決能力及びコミュニケーションスキルの育成を図るため、PBLやSGDなどのアクティブ・ラーニングを取り入れた少人数教育科目や統合教育科目を編成し、実施する。
- ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に掲げる薬剤師に必要な知識、技能、態度を評価する。
  ①「薬学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠した科目と本学独自の科目の評価
  ② 実務実習の評価
  ③ 卒業研究の評価

### アドミッション・ポリシー（入学生像）

本学では、その理念、教育目標、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）のもと、医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、社会に貢献する為に高度な薬学の知識と技能を修得できる資質と協働性をもった、次のような人を求めています。

**求める人物像**

1. 自然科学を深く学ぶ意欲と能力を有している人物
2. 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得している人物
3. 本学での学習を通してこれからの社会で通用する実力及び医療人に必要なコミュニケーション力を身につけ、将来、薬学、医療、及び関連する分野で活躍したいという強い意志と意欲を持つ人物

**求める人物像における具体的な項目について記載し、このような入学者を適正に選抜するため多様な選抜方法を実施します。**

- **関心・意欲・態度・探究心**
  自然科学（特に薬学及び関連分野）に強い関心と学ぶ意欲を持ち、生命・健康・医療に関する諸問題に対して探究心を身に付け、活躍、貢献したいという意志を持つ人物
- **知識・教養**
  薬学の専門分野を学ぶために、入学後の学修に必要となる理科、数学に加え、英語等の基礎学力を有している人物
- **思考力・判断力**
  これまでの知識をもとに、思考を深めながら適切に判断できる人物
- **表現力・コミュニケーション力**
  自分が伝えたいことを相手に表現できるだけでなく、相手の表現を正しく理解し、コミュニケーションできる人物
- **協働性**
  問題解決のために、いろいろな分野の人と協力して活動できる人物

**＊高等学校で学ぶべき具体的な内容**

（試験科目より）
理科 …「化学基礎・化学」「生物」「物理」の基礎的な知識と科学的に探究する姿勢
数学 …「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」の基礎的な知識と論理的思考力
英語 …「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」
「コミュニケーション英語Ⅲ」「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」の基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション力・論理的思考力

（試験科目以外）
国語 … 様々な文章の読解力と自分の伝えたいことを表現できる基礎的な文章力
公民 … 倫理における基礎的な内容の理解
特別活動及び課外活動等を通した自主性、協調的な態度や思いやりと奉仕の心



## 医療産業都市神戸の立地を活かし、ますます社会に貢献します

神戸薬科大学は昭和5（1930）年に神戸以西では唯一の女子薬学教育機関として創設され現在まで17,403名の人材（卒業生）を輩出した85年の歴史を有する大学です。臨床教育重視を目的とした薬学教育6年制が定着した今、医療の現場で活躍できる人材をこれからも輩出し、社会に貢献できる大学であり続けることが求められています。国際性豊かな医療産業都市神戸の立地を活かした本学ならではの教育を更に推進し、それを実現するための学内の環境設備を充実させていきます。
また、本学の特長である「生涯研修」を更に充実させ、薬剤師の卒後のスキルアップに深くかかわり、広く門戸を開き「地域との連携」に取り組むことで、ますます社会に貢献できる存在であり続けます。

**理事長 宮武 健次郎**

## 科学的根拠に裏付けされた健康サポート活動をブランドとし、幅広い領域で貢献できる薬のプロフェッショナルを養成します

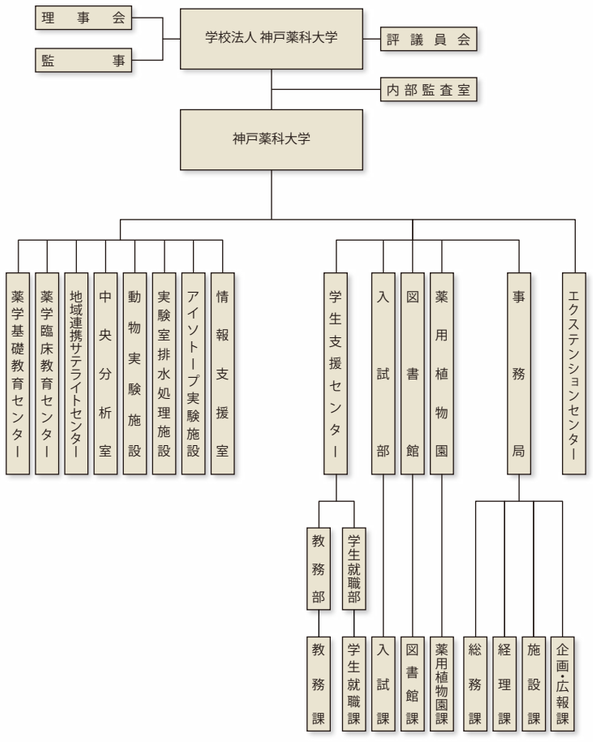
神戸薬科大学は、創立以来、社会に貢献できる人材の育成を目的とし、数多くの優れた薬剤師、研究者、専門職能人を社会に送り出してきました。近年、医療の高度化、チーム医療をはじめとする多職種連携協働の進展の中で、薬剤師を取り巻く環境は大きく変化し、医療現場で求められる高度な専門性や医薬品の適正使用に果たす役割と責任は増大しています。
厚生労働省において「患者のための薬局ビジョン」が策定され、薬剤師に健康サポート機能や高度薬学管理機能が求められ、大学にもその基盤形成支援の役割が期待されているところです。このような社会的要請を背景として、建設中の地域連携サテライトセンターを研究・教育に活かしながら、本学の特長である生涯研修の強化とともに、英語教育、海外薬学研修などの国際教育の推進や国内外の大学・医療関連機関との連携など関連するさまざまな領域で教育環境の向上を進めていきます。
一方、社会のニーズにこたえるべく、研究についても一層のレベルアップに取り組んでいます。本学は、「創学の精神」「大学の理念」を基盤として、高度な薬学の知識と技能の修得とともに、医療人としての人間性教育の充実や問題発見・解決能力の養成に努めています。研究によって科学的根拠に裏付けされた健康サポート活動を大学のブランドとし、医薬品にかかわる幅広い領域で貢献できる薬のプロフェッショナルの養成を目指していきます。

**学長 北河 修治**

# 大学基本データ

**大学設置** 1949年
**設置者** 学校法人神戸薬科大学
**本部所在地** 兵庫県神戸市東灘区本山北町4-19-1

## 組織図




## 学生数

**学生** 学生数現員〈 〉は入学定員（ ）は男子学生数 2017年5月1日現在

| 年次別 | 学部〈270〉 | 大学院 修士課程〈5〉 | 大学院 博士課程〈3〉 |
|---|---|---|---|
| 1 | 323（96） | 2 | 2（1） |
| 2 | 297（87） | 2（1） | 2（1） |
| 3 | 264（87） | | 1（1） |
| 4 | 298（84） | | 3（1） |
| 5 | 257（76） | | |
| 6 | 320（101） | | |
| 計 | 1,759（531） | 4（1） | 8（4） |

**学部卒業生数**

| 専門学校 | 学部 | 合計 |
|---|---|---|
| 1,740 | 15,663 | 17,403 |

**学位授与状況** 2017年4月1日現在

| 修士号取得（薬学） | 修士号取得（薬科学） | 博士号取得（課程博士） | 博士号取得（論文博士） |
|---|---|---|---|
| 638 | 14 | 41 | 42 |

**職員** 2017年5月1日現在

| 教育職員（職名） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | 非常勤講師 |
| 35※1 | 12 | 25 | 12※2 | 2 | 54 |

| 事務職員等（44名） 職種 | 事務局 総務課 | 事務局 施設課 | 事務局 経理課 | 事務局 企画広報課 | 学生支援センター 教務部 教務課 | 学生支援センター 学生就職部 学生就職課 | 入試部 入試課 | 図書館 図書館課 | 薬用植物園 薬用植物園課 | エクステンションセンター | 情報支援室 | 薬学臨床教育センター | 内部監査室 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務系 | 9※3 | 3 | 3 | 3 | 8 | 5 | 3 | 1 | | 1 | 2 | 1 | | 39 |
| 技術系 | | 1 | | | | 1 | | | 2 | | | | | 4 |
| 兼務 | | | | | | | | | | | (1) | | (3)※4 | (4) |
| その他 | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 計 | 9 | 4 | 3 | 3 | 8 | 7 | 3 | 1 | 2 | 1 | 2 (1) | 1 | (3) | 44 (4)※5 |

※1：学長、副学長は教授に含む　※2：特任助教は助教に含む　※3：事務局長は総務課に含む
※4：うち1名は教員　※5：（ ）内の人数は兼務者

# 教　育

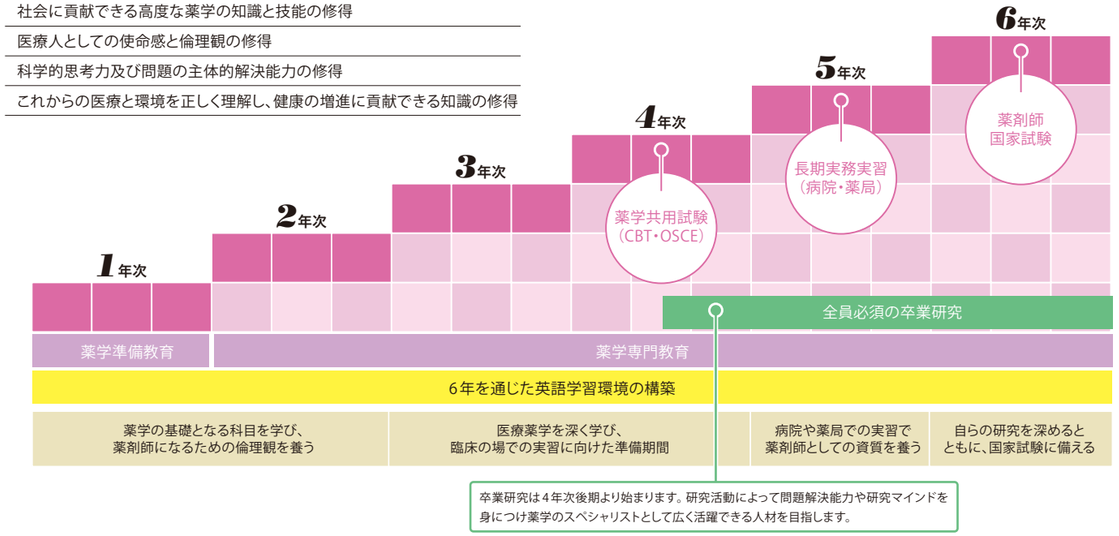
## 医療の現場を意識した医療薬学教育を実践

神戸薬科大学のカリキュラムは、専門教育科目における高度な知識・技能の修得はもちろんのこと、実務実習事前教育と5か月間に及ぶ病院・薬局実習がその中心的役割を担っています。それにとどまらず国際化がますます進むなか、薬剤師に求められる実践的な英語力の修得を重視した教育、少人数グループによる演習科目の充実、更には研究室での卒業研究を通じて科学的探究心と思考力を育成し、問題発見・解決型の薬剤師の養成を目指します。

## 学部　《 6年一貫の教育カリキュラム 》

### 教育目標

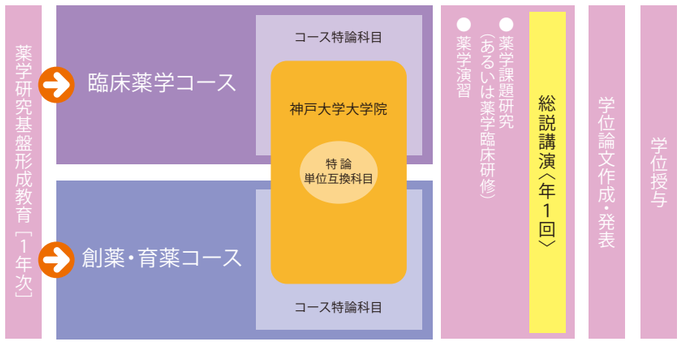
- 社会に貢献できる高度な薬学の知識と技能の修得
- 医療人としての使命感と倫理観の修得
- 科学的思考力及び問題の主体的解決能力の修得
- これからの医療と環境を正しく理解し、健康の増進に貢献できる知識の修得




## 大学院

学部で積み上げた知識や研究成果を更に深化させる高等教育の場として、大学院薬学研究科を設置しています。チーム医療の現場において薬剤師として、又は創薬研究・医薬品開発を担う質の高い研究者として活躍できる人材の養成を目指しています。

### 大学院 博士課程（4年制）カリキュラムイメージ




### 臨床薬学コース

医師・看護師との協働の下、薬物治療に参画できる人材へ

医師、看護師をはじめとする医療従事者との協働により、薬物治療に積極的に参画できる人材養成を目指します。神戸大学医学部附属病院等での2年間の長期臨床研修が可能な体制を整えています。

### 創薬・育薬コース

先端的薬学研究を指導的立場からリードできる人材へ

創薬・育薬分野において指導的立場でプロジェクトを遂行でき、自立して先端的薬学研究を展開できる人材養成を目指します。

## 国際交流の活性化・多角的な活動

国際社会における保健衛生の保持・向上の重要性を視野に入れ、さまざまな方面での協力連携を推進しています。交流協定に基づいた共同研究や、外国人ポスト・ドクターの登用など、積極的な国際交流を図っています。

### 海外薬学研修プログラム

先進医療の中心地であるボストンの病院やコミュニティーファーマシーなどの医療施設や医薬品開発の研究機関を訪問するほか、提携大学であるマサチューセッツ薬科健康科学大学（MCPHS）で臨床系教員より実務実習の講義を受けたり、現地の学生と意見交換を行ったりするなど、海外の薬学教育を知る機会を設けています。

臨床系教員との懇談



# 研　究

## 共同研究やプロジェクト参画により研究成果を社会に還元する

大学の永続的発展のためには、学生へのよりよい教育の提供と教員の研究活動の活性化が必要不可欠です。研究室間、又は他の研究機関との共同研究やプロジェクトへの参画など研究協力を推進することにより、その成果を広く社会に還元し、本学の研究及び教育の発展に寄与していきます。

## 研究室／支援・教育センター

- ■薬学系研究室 ―― 生命分析化学研究室 / 医薬細胞生物学研究室 / 生化学研究室 / 薬化学研究室 / 薬品化学研究室 / 生命有機化学研究室 / 衛生化学研究室 / 微生物化学研究室 / 薬理学研究室 / 医療薬学研究室 / 製剤学研究室 / 薬品物理化学研究室 / 機能性分子化学研究室 / 薬剤学研究室 / 臨床薬学研究室 / 病態生化学研究室
- ■支援・教育センター ―― 放射線管理室 / 中央分析室 / 情報支援室 / 薬学基礎教育センター / 薬学臨床教育センター
- ■教養・社会薬学系研究室 ―― 人文科学研究室 / 社会科学研究室 / 英語第1研究室 / 英語第2研究室 / 数学研究室 / 医療統計学研究室 / 臨床心理学研究室

## 教育研究・施設

動物実験施設／アイソトープ実験施設／実験室排水処理施設／薬用植物園／図書館

## 研究費獲得状況

### 科学研究費補助金の応募及び採択状況（新規課題＋継続結果）

（単位：千円）

| | | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 新学術領域研究 | 応募件数 | 2件 | 1件 | 2件 | 5件 |
| | 採択件数 | 1件 | 1件 | 0件 | 2件 |
| | 補助金額 | 18,500 | 18,500 | 0 | 37,000 |
| 基盤研究(B) | 応募件数 | 3件 | 4件 | 4件 | 11件 |
| | 採択件数 | 2件 | 1件 | 4件 | 7件 |
| | 補助金額 | 7,400 | 4,200 | 17,900 | 29,500 |
| 基盤研究(C) | 応募件数 | 36件 | 40件 | 39件 | 115件 |
| | 採択件数 | 20件 | 21件 | 24件 | 65件 |
| | 補助金額 | 26,112 | 24,167 | 27,164 | 77,443 |
| 挑戦的萌芽研究 | 応募件数 | 9件 | 10件 | 13件 | 32件 |
| | 採択件数 | 6件 | 4件 | 3件 | 13件 |
| | 補助金額 | 8,200 | 5,800 | 2,200 | 16,200 |
| 若手研究(A) | 応募件数 | 1件 | 1件 | 2件 | 4件 |
| | 採択件数 | 1件 | 1件 | 2件 | 4件 |
| | 補助金額 | 5,400 | 4,800 | 561 | 10,761 |
| 若手研究(B) | 応募件数 | 12件 | 11件 | 10件 | 33件 |
| | 採択件数 | 7件 | 8件 | 5件 | 20件 |
| | 補助金額 | 9,000 | 10,879 | 4,035 | 23,914 |
| 研究活動スタート支援 | 応募件数 | 0件 | 0件 | 1件 | 1件 |
| | 採択件数 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 |
| | 補助金額 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特別研究員奨励費 | 応募件数 | 0件 | 1件 | 1件 | 2件 |
| | 採択件数 | 0件 | 1件 | 1件 | 2件 |
| | 補助金額 | 0 | 900 | 800 | 1,700 |
| 合　計 | 応募件数 | 63件 | 68件 | 72件 | 203件 |
| | 採択件数 | 37件 | 37件 | 39件 | 113件 |
| | 補助金額 | 74,612 | 69,246 | 52,660 | 196,518 |

### その他の研究費受領件数・金額

（単位：千円）

| | | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 受託研究費 | 件数 | 6件 | 4件 | 4件 | 14件 |
| | 金額 | 7,393 | 3,072 | 10,067 | 20,532 |
| 奨学寄附金 | 件数 | 12件 | 13件 | 15件 | 40件 |
| | 金額 | 11,200 | 19,041 | 14,081 | 44,322 |
| 非営利団体等からの助成金 | 件数 | 5件 | 3件 | 9件 | 17件 |
| | 金額 | 8,400 | 7,918 | 19,900 | 36,218 |

## 論文発表状況

| | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 研究論文 | 92 | 101 | 60 | 253 |
| 著書 | 18 | 16 | 11 | 45 |
| 総説 | 13 | 14 | 14 | 41 |
| 学会発表 | 267 | 222 | 238 | 727 |

2017年9月に開設予定

## 神戸薬科大学地域連携サテライトセンター

大学の 教育 研究 社会貢献 につなぐ 地域連携 の活動・事業拠点

他大学や企業・自治体と連携を図り、薬剤師や地域に向けて本学が有する知識を発信・活用できる場として機能させていくことを目指します。

テーマ
**科学的根拠に裏付けされた健康サポート活動**

目的
**地域のみなさん・患者さんとの交流による学生教育**
**高齢者の健康寿命をのばす**
地域のみなさんのQOL（生活の質）向上

完成予想図：実際とは異なる場合があります

地域貢献

**主な取り組み**
- 神戸市東灘区との地域連携
- 公開市民講座
- メディカル・カフェ
- 兵庫県子育て支援事業「ママサポート会」
- 神戸市の啓発事業にボランティアで参加
- 喫煙防止・健康教育活動　など

## 研究事業・連携

### 神戸大学との大学間連携

本学は、いち早く先進的な教育を行ってきました。そのひとつが神戸大学と連携協定を結んだ「医薬共同」の教育です。早期の学習から専門性の向上にいたるまで、一貫した医薬共同の教育を展開。広範な薬学のフィールドで活躍できる医療人の育成を目指しています。

学部
**チーム医療教育を推進**
- 初期体験臨床実習［1年次］
- 「IPW（多職種間協働）演習［5年次］
- 卒業研究［4～6年次］
  ・神戸大学臨床研究コース
- Student CASP ワークショップ

大学院
**単位互換制度の導入**
**学生の相互受入れ**
**専門薬剤師養成コースを設置**

病院
**薬剤師レジデント・薬大教員の医療従事**

研究
**共同研究の推進**

文部科学省 多様な新ニーズに対応する

### がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン

7大学が相互に連携・補完して教育を活性化し、がん専門医療人養成のための教育拠点構築を目的とし、わが国及び地域のがん医療の向上を推進します。

**参加大学**

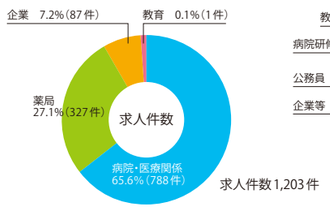
大阪大学 / 兵庫県立大学 / 和歌山県立医科大学 / 奈良県立医科大学 / 京都府立医科大学 / 大阪薬科大学 / 神戸薬科大学

# 就　職

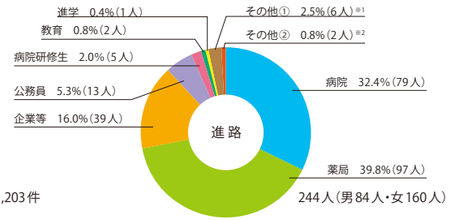
## 低学年次からキャリア意識を高める、きめ細かな支援プログラムを実施

低学年次から進路について考えたり、業界のことを学んだりできる就職支援プログラムを展開。学生が自分にふさわしい進路を見つけることができるよう、さまざまな角度からサポートしています。

## 2016年度 卒業生の進路状況（2017年5月1日現在）




求人件数1,203件




244人（男84人・女160人）

※1 就職する意思のない者・留学・自営・資格取得希望者
※2 就職する意思はあるが未定の者

### 主な就職先一覧（50音順）

【薬剤師（病院）】

社会医療法人 明石医療センター
地方独立行政法人 明石市立市民病院
上尾中央医科グループ
医療法人伯鳳会 赤穂中央病院
特定医療法人中央会 尼崎中央病院
医療法人社団 智聖会 安藤病院
医療法人医誠会 医誠会病院
医療法人財団 樹徳会 上ヶ原病院
社会福祉法人 大阪暁明館病院
財団法人大阪府警察協会 大阪警察病院
株式会社互恵会 大阪回生病院
岡山済生会総合病院
岡山大学病院
鹿児島市立病院
金沢医科大学病院
医療法人 川崎病院
独立行政法人 労働者健康安全機構 関西ろうさい病院
岸和田徳洲会病院
財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院
JCHO 九州病院
京都府立医科大学附属病院
医療法人 協和会
近畿大学医学部附属病院
医療法人 錦秀会
倉敷中央病院
高知大学医学部附属病院
医療法人公道会 公道会病院
一般財団法人 甲南会
神戸朝日病院
地方独立行政法人 神戸市民病院機構
JCHO 神戸中央病院
労働福祉事業団 神戸労災病院
国立循環器病研究センター病院
独立行政法人国立病院機構 近畿グループ
社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院
医療法人清仁会 シミズ病院グループ
医療法人社団蘇生会 蘇生会総合病院
高槻赤十字病院
医療法人尚和会 宝塚第一病院
香川県厚生農業協同組合連合会 滝宮総合病院
医療法人近森会 近森病院
中国電力株式会社 中電病院
特定医療法人 三栄会 ツカザキ病院
国立大学法人 徳島大学病院
徳洲会グループ
とちぎメディカルセンターしもつが
鳥取大学医学部附属病院
大阪府済生会 富田林病院
長崎大学病院
公立病院法人 奈良県立医科大学附属病院
医療法人敬愛会 西宮敬愛会病院
社会医療法人 渡邊高記念会 西宮渡辺病院
医療法人同愛会 博愛病院
医療法人財団 姫路聖マリア病院
姫路赤十字病院
済生会兵庫県病院
社会医療法人 製鉄記念広畑病院
日本綜合病院
日本銅管福山病院
松江赤十字病院
松山赤十字病院
社会医療法人 同仁会 耳原総合病院
神戸市立医療センター西市民病院 薬剤師レジデント
神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤師レジデント
滋賀医科大学医学部付属病院 レジデント
兵庫医科大学病院 薬剤師レジデント
兵庫県立こども病院 レジデント
県立姫路循環器病センター レジデント
淀川キリスト教病院 薬剤師レジデント

【薬局】

株式会社アイセイ薬局
株式会社アインホールディングス
株式会社アカカベ
株式会社ピスファーマシー
株式会社アルカ
イオンリテール株式会社
株式会社 育星会 カイセイ薬局
ウエルシアホールディングス株式会社
株式会社 岡山医学検査センター スマイル薬局
株式会社カイセー 回生堂薬局
株式会社エムワン
株式会社 杏林堂薬局
株式会社コクミン
株式会社ココカラファイン ヘルスケア
株式会社りライアンス
株式会社サエラ サエラ薬局
株式会社ザグザグ
株式会社サンドラッグ
有限会社サンミ企画
代々木商事有限会社 神女薬局
株式会社新成堂
株式会社スギ薬局
そうけん薬局
総合メディカル株式会社
たんぽぽ薬局株式会社
株式会社ツルハ
トライアドジャパン株式会社（かもめ薬局）
株式会社ツルハグループ ドラッグ&ファーマシー西日本
中川調剤薬局
なかの薬局
株式会社楠公堂薬局
株式会社ニチホス
日本調剤株式会社
株式会社ハーモニードレミ薬局 くるみ薬局
株式会社ファーマホールディング なの花薬局
ファルメディコ株式会社 ハザマ薬局
株式会社ホロン すずらん薬局グループ
マイライフ株式会社（オール薬局）
株式会社マツモトキヨシ
株式会社ミック
株式会社ユーアイファーマシー

【公務員】

尼崎市職員
大阪市職員
香川県職員
富山県職員
兵庫県職員
広島県職員
猛禽類医学研究所

【企業等】

株式会社陽進堂
住友精化株式会社
東洋製薬化成株式会社
藤本化学製品株式会社
丸石製薬株式会社
ビオフェルミン製薬株式会社
アルフレッサ株式会社
株式会社ケーエスケー
株式会社サンキ
株式会社EP綜合
クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社
シミックホールディングス株式会社
株式会社新日本科学PPD
バルクセル・インターナショナル株式会社
あすか製薬株式会社
アッヴィ合同会社
日本イーライリリー株式会社
大塚製薬株式会社
株式会社大塚製薬工場
小野薬品工業株式会社
杏林製薬株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社
クラシエ製薬株式会社
大日本住友製薬株式会社
武田薬品工業株式会社
中外製薬株式会社
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
扶桑薬品工業株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
持田製薬株式会社
ヤンセンファーマ株式会社
学校法人医学アカデミー 薬学ゼミナール

### 徹底した試験対策指導

６年一貫の体系的なカリキュラムの下、薬学臨床教育センター、各研究室、教員が一体となり、講義や補講、模擬試験、講習などを実施し、徹底した試験対策指導を行っています。

高い合格率を誇る「薬剤師国家試験」

| | 100回（2015年） | 101回（2016年） | 102回（2017年） |
|---|---|---|---|
| 本学※ | 69.53% | 89.51% | **89.26%** |
| 本学新卒 | 72.58% | 95.02% | **95.08%** |
| 全国 | 63.17% | 76.85% | **71.58%** |

※本学総数合格率：本学既卒者も含みます

# 生涯研修

## 薬学の「英知」を拡げ、薬学のプロとして進化・深化し続ける

本学では社会で活躍する薬剤師からの期待とニーズにこたえるため高水準の薬学教育をはじめとする多様な学びの場を提供し、社会で活躍する薬剤師の資質向上と生涯研鑽に寄与しています。

## エクステンション事業

本学が薬学教育で培ってきた独自のカリキュラムや人的資産などを生かし、社会で活躍する薬剤師の専門的資質の向上と生涯研鑽に寄与するエクステンション事業を展開しています。本事業を学部及び大学院と並び立つ、第三の教育事業として位置付け、あらゆる職域の薬剤師に向けて豊富な生涯研修の場と情報を提供しています。

### エクステンションセンター

本学で実施している研修講座はすべて公開講座です。卒業生はもちろん、他大学出身の薬剤師や医療従事者の方なども多く受講されています。

卒後、実社会で働く薬剤師は、時代に即応した医療レベルに継続的にこたえていく必要があり、医療現場の薬剤師に有用かつ実践的な生涯研修の場と情報を提供し、薬剤師支援活動の強力な拠点になることを目指しています。

時節に応じた話題を捉えた講義、症例を用いた実践的なセミナーなどを実施し、薬剤師の資質向上に寄与するとともに、学部学生からも活用されることを期待しています。

### 神戸薬科大学生涯研修認定制度

本学は西日本薬系大学では初となる「生涯研修プロバイダー」として2007年6月に「公益社団法人薬剤師認定制度認証機構」から認証（G07）を受けました。

2016年8月に、「薬剤師認定制度認証機構」より2回目の認証更新が承認され、引き続き単位修得者に「認定薬剤師証」の交付をしています。
また、今年度より、「健康食品領域研修認定薬剤師制度」（申請中）をスタートする予定です。

**主な取り組み**

- 卒後研修講座
- 薬剤師実践塾
- 健康食品講座
- リカレントセミナー
- シンポジウム
- 「在宅医療」を支援する指導薬剤師養成プログラム　など



# 財務情報

## 平成28年度 法人会計決算の概要

神戸薬科大学の財務状況を本学ホームページにてPDF形式ファイルで公開しています。なお、本学では「事業計画／予算書」・「事業報告書」・「会計報告書」等の印刷物についても閲覧・複写・配布などの方法により情報公開を行っております。ご希望の方は事務局へお申し出ください。

### 資金収支計算書総括表［平成28年4月1日から平成29年3月31日まで］

（単位　千円）

支出の部

| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 人件費支出 | 1,751,500 | 1,534,959 | 216,541 |
| 教育研究経費支出 | 1,203,700 | 987,530 | 216,170 |
| 管理経費支出 | 313,000 | 226,867 | 86,133 |
| 借入金等利息支出 | 0 | 0 | 0 |
| 借入金等返済支出 | 0 | 0 | 0 |
| 施設関係支出 | 1,906,600 | 1,616,393 | 290,207 |
| 設備関係支出 | 139,300 | 121,935 | 17,365 |
| 資産運用支出 | 580,000 | 956,404 | △ 376,404 |
| その他の支出 | 57,000 | 67,933 | △ 10,933 |
| ［予備費］ | 20,000 | ―― | 20,000 |
| 資金支出調整勘定 | △ 54,000 | △ 51,202 | △ 2,798 |
| 翌年度繰越支払資金 | 924,300 | 1,422,631 | △ 498,331 |
| 支出の部合計 | 6,841,400 | 6,883,452 | △ 42,052 |

収入の部

| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 学生生徒等納付金収入 | 3,205,400 | 3,255,617 | △ 50,217 |
| 手数料収入 | 112,800 | 122,361 | △ 9,561 |
| 寄付金収入 | 15,000 | 17,353 | △ 2,353 |
| 補助金収入 | 316,100 | 273,988 | 42,112 |
| 資産売却収入 | 800,000 | 800,000 | 0 |
| 付随事業・収益事業収入 | 37,500 | 39,106 | △ 1,606 |
| 受取利息・配当金収入 | 58,300 | 63,088 | △ 4,788 |
| 雑収入 | 98,000 | 108,949 | △ 10,949 |
| 借入金等収入 | 0 | 0 | 0 |
| 前受金収入 | 394,500 | 432,898 | △ 38,398 |
| その他の収入 | 981,000 | 978,502 | 2,498 |
| 資金収入調整勘定 | △ 458,500 | △ 489,781 | 31,281 |
| 前年度繰越支払資金 | 1,281,300 | 1,281,371 | △ 71 |
| 収入の部合計 | 6,841,400 | 6,883,452 | △ 42,052 |

### 事業活動収支計算書総括表［平成28年4月1日から平成29年3月31日まで］

（単位　千円）

支出の部

| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 人件費 | 1,719,500 | 1,510,096 | 209,404 |
| 教育研究経費 | 1,674,700 | 1,482,598 | 192,102 |
| 管理経費 | 399,000 | 313,620 | 85,380 |
| 徴収不能額等 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動支出計 | 3,793,200 | 3,306,314 | 486,886 |
| 借入金等利息 | 0 | 0 | 0 |
| その他の教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外支出計 | 0 | 0 | 0 |
| 資産処分差額 | 0 | 11,743 | △ 11,743 |
| その他の特別支出 | 0 | 0 | 0 |
| 特別支出計 | 0 | 11,743 | △ 11,743 |
| ［予備費］ | 20,000 | ―― | 20,000 |

収入の部

| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 学生納付金 | 3,205,400 | 3,255,617 | △ 50,217 |
| 手数料 | 112,800 | 122,361 | △ 9,561 |
| 寄付金 | 15,000 | 17,608 | △ 2,608 |
| 経常費等補助金 | 316,100 | 257,516 | 58,584 |
| 付随事業収入 | 37,500 | 39,106 | △ 1,606 |
| 雑収入 | 98,000 | 108,949 | △ 10,949 |
| 教育活動収入計 | 3,784,800 | 3,801,157 | △ 16,357 |
| 教育活動収支差額 | △ 8,400 | 494,843 | △ 503,243 |
| 受取利息・配当金 | 58,300 | 63,088 | △ 4,788 |
| その他の教育活動外収入 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外収入計 | 58,300 | 63,088 | △ 4,788 |
| 教育活動外収支差額 | 58,300 | 63,088 | △ 4,788 |
| 経常収支差額 | 49,900 | 557,931 | △ 508,031 |
| 資産売却差額 | 171,000 | 170,740 | 260 |
| その他の特別収入 | 0 | 34,796 | △ 34,796 |
| 特別収入計 | 171,000 | 205,536 | △ 34,536 |
| 特別収支差額 | 171,000 | 193,793 | △ 22,793 |
| 基本金組入前当年度収支差額 | 200,900 | 751,724 | △ 550,824 |
| 基本金組入額合計 | △ 1,277,900 | △ 1,060,488 | △ 217,412 |
| 当年度収支差額 | △ 1,077,000 | △ 308,764 | △ 768,236 |
| 前年度繰越収支差額 | 1,066,100 | 1,066,112 | △ 12 |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 10,900 | 757,348 | △ 768,248 |

### 貸借対照表［平成29年3月31日現在］

（単位　千円）

資産の部

| 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 固定資産 | 23,846,333 | 23,274,844 | 571,489 |
| 有形固定資産 | 13,123,962 | 12,589,877 | 534,085 |
| 土地 | 1,144,767 | 1,604,931 | △ 460,164 |
| 建物 | 9,676,932 | 8,526,671 | 1,150,261 |
| その他の有形固定資産 | 2,302,263 | 2,458,275 | △ 156,012 |
| 特定資産 | 10,717,003 | 10,679,599 | 37,404 |
| 第2号基本金引当特定資産 | 2,010,000 | 1,940,000 | 70,000 |
| 第3号基本金引当特定資産 | 949,773 | 938,137 | 11,636 |
| 減価償却引当特定資産 | 5,924,679 | 5,974,389 | △ 49,710 |
| その他の特定資産 | 1,832,551 | 1,827,073 | 5,478 |
| その他の固定資産 | 5,368 | 5,368 | 0 |
| 流動資産 | 1,528,033 | 1,353,471 | 174,562 |
| 現金預金 | 1,422,631 | 1,281,371 | 141,260 |
| その他の流動資産 | 105,402 | 72,100 | 33,302 |
| 資産の部合計 | 25,374,366 | 24,628,315 | 746,051 |

負債の部

| 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 固定負債 | 863,713 | 888,576 | △ 24,863 |
| 退職給与引当金 | 863,713 | 888,576 | △ 24,863 |
| 流動負債 | 621,486 | 602,296 | 19,190 |
| 前受金 | 432,898 | 397,192 | 35,706 |
| その他の流動負債 | 188,588 | 205,104 | △ 16,516 |
| 負債の部合計 | 1,485,199 | 1,490,872 | △ 5,673 |

純資産の部

| 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 基本金 | 23,131,819 | 22,071,331 | 1,060,488 |
| 第1号基本金 | 19,923,213 | 18,944,360 | 978,853 |
| 第2号基本金 | 2,010,000 | 1,940,000 | 70,000 |
| 第3号基本金 | 949,772 | 938,137 | 11,635 |
| 第4号基本金 | 248,834 | 248,834 | 0 |
| 繰越収支差額 | 757,348 | 1,066,112 | △ 308,764 |
| 翌年度繰越収支差額 | 757,348 | 1,066,112 | △ 308,764 |
| 純資産の部合計 | 23,889,167 | 23,137,443 | 751,724 |
| 負債・純資産の部合計 | 25,374,366 | 24,628,315 | 746,051 |

### 財産目録［平成29年3月31日現在］

（単位　千円）

| | |
|---|---|
| Ⅰ　資産総額 | 25,374,366 |
| 内　基本財産 | 13,229,364 |
| 運用財産 | 12,145,002 |
| Ⅱ　負債総額 | 1,485,199 |
| Ⅲ　純資産額（正味財産） | 23,889,167 |

（単位　千円）

資産額

| 区分 | | 金額 |
|---|---|---|
| 1　基本財産 | | 13,229,364 |
| 土地 | 87,312.40㎡ | 1,144,767 |
| 建物 | 48,089.75㎡ | 9,676,932 |
| 図書（図書111,054冊、雑誌553誌　他） | | 1,028,573 |
| 構築物・機器備品 | 2,184点　他 | 1,273,690 |
| その他 | | 105,402 |
| 2　運用財産 | | 12,145,002 |
| 現金預金 | | 1,422,631 |
| 特定資産 | | 10,717,003 |
| その他 | | 5,368 |
| 資産総額 | | 25,374,366 |
| 純資産額（資産総額－負債総額） | | 23,889,167 |

負債額

| 区分 | 金額 |
|---|---|
| 1　固定負債 | 863,713 |
| 退職給与引当金 | 863,713 |
| 2　流動負債 | 621,486 |
| 前受金 | 432,898 |
| その他 | 188,588 |
| 負債総額 | 1,485,199 |